

令和7年4月～6月 地域経済動向調査まとめ

①【長野県産業労働部】「景気動向調査（令和7年6月27日公表）」

- ・ 製造業：12期連続で業況判断指数がマイナス。原材料費・エネルギーコスト高騰が影響。自動車関連の受注も低迷。
- ・ 非製造業：6期ぶりにプラス水準へ回復。宿泊・飲食・情報サービス業が牽引。一方、建設・卸売・小売はマイナス継続。

傾向まとめ：製造業は厳しい状況が続くが、非製造業では一部業種で回復傾向。

②【関東財務局 長野財務事務所】「県内経済情勢報告書（2025年7月29日公表）」

- ・ 総括判断：「県内経済は一部に弱さがあるものの、持ち直している」と据え置き。
- ・ 個人消費／生産活動：緩やかに持ち直し。
- ・ 雇用：足踏み状態。
- ・ 設備投資：引き続き減少見込み。
- ・ 企業収益：減益見通しに下方修正。
- ・ 景況感：悪化傾向（下降超が拡大）。

傾向まとめ：全体として「持ち直し」の基調は維持されるものの、先行きに慎重な見方が広がる。

③【飯田信用金庫】「飯伊地区産業経済動向」2025年4月・5月・6月分

- ・ 製造業 DI（業況判断指数）：
 - 4月：+0.8（横ばい）
 - 5月：+1.3（やや改善）
 - 6月：+1.7（持ち直し継続）
- ・ 非製造業 DI：
 - いずれの月も-1.0～-2.4の間で推移、依然として弱含み。

傾向まとめ：製造業は緩やかな回復基調。一方、非製造業では小売・建設を中心に厳しい状態が続く。

総合評価（2025年4～6月期の外部環境）

区分	傾向
製造業	緩やかな回復。県全体では厳しいが、飯伊地区ではDIが3ヶ月連続でプラス。
非製造業	二極化傾向。観光関連は回復、一方で小売・建設は低迷しマイナス基調。
企業収益	減益見通しが広がり、設備投資意欲にも抑制的傾向。
消費・雇用	個人消費は持ち直しつつあるが、雇用は「足踏み」で回復に時間。
先行き感	不透明感あり。企業の慎重姿勢強まる。